

Turbo-CE 2.6 Master (試験コード:TLO-006 Turbo-CE 認定試験) 模擬問題

※次のサンプル問題は、Turbolinux 10 Server (Linux カーネル 2.6)を前提としています。

1. Linux カーネル 2.6 (標準カーネル)で取り込まれているジャーナリングファイルシステムとして適切なものを次の中から **3つ** 選びなさい。

- ① ReiserFS
 - ② ext2
 - ③ JFS
 - ④ XFS
 - ⑤ FAT
- 【正解】①③④

2. Linux のシステム管理に関するコマンドの説明として適切なものを次の中から **1つ** 選びなさい。

- ① tar はアーカイブの管理を行うコマンドで、ファイルやディレクトリのバックアップにも利用できる。
 - ② ls コマンドの使用方法を調べる際に man ls コマンドを利用できる。
 - ③ ログファイルなど増加し続けるファイルの末尾部分を継続して表示するコマンドは、
tail -c ファイル名 である。
 - ④ less コマンドには、表示している文字列を検索する機能がある。
 - ⑤ 一般ユーザーは passwd コマンドを使用して自分のログインパスワードを変更できる。
- 【正解】③

3. syslogd に関する説明として適切なものを次の中から **3つ** 選びなさい。

- ① ログはファイルに出力するだけでなく、コンソールに表示することもできる。
 - ② セキュリティ面を考慮してログをローカルホストではなくリモートホストに出力する設定も可能である。
 - ③ ログ出力対象とするサービスやプライオリティ(緊急度)の設定を変更することができる。
 - ④ ログの出力先ファイル名をサービスごとに変更することはできない。
 - ⑤ ログファイルを読むには専用の解釈ソフトが必要である。
- 【正解】①②③

4. /etc/xinetd.d/telnet ファイルの内容が以下のようなとき、その説明について適切なものを次の中から**3つ** 選びなさい。

```
service telnet
{
  disable = no
  socket_type = stream
  protocol = tcp
  wait = no
  user = root
  server = /usr/sbin/in.telnetd
  server_args = -h
}
```

- ① xinetd 経由の telnet サービスは無効に指定されている。
 - ② リモートログインを許可されているユーザーは root のみである。
 - ③ telnet サービスを提供するデーモンの名前は in.telnetd である。
 - ④ in.telnetd の起動オプションは -h である。
 - ⑤ telnet のデーモンプロセスの実効権限は root となる。
- 【正解】③④⑤

5. 以前のバージョンと比較して Apache2.0 で追加/変更された機能の説明として適切なものを次の中から **3つ** 選びなさい。

- ① Apache API が新しくなった。
 - ② ディレクティブが統合され設定が簡素化された。
 - ③ はじめてバーチャルホストがサポートされた。
 - ④ サーバーデーモンの実行を司るプログラムが MPM としてモジュール化された。
 - ⑤ SSI のサポートが廃止された。
- 【正解】①②④